

彫刻の美

本郷新に学ぶ彫刻鑑賞

同じ音が、同じ速さで、いつまでもいつまでもつづいたら、人々は退屈してしまう。それは音楽にはならない。音に高低強弱があり、早かったり遅かったりするのとおもしろいのである。そのように、彫刻の肉づきの盛りあがりだったり、落ちくぼんだりするところの起伏のいつも同じようなふうにと続けると、律動が消えて退屈になってしまう。岩石のように硬くて鋭い肩さきから、やがてひろびろとした海原のような胸に来て、波のささやきを聞きながらくると、間もなく砂丘のような腹部が温かく盛りあがってくるというように、人体の胴だけの彫刻でも、

起伏のなかに音楽のような律動を感じることができるのである。十九世紀の大家ロダンは、首も手も足もない胴体だけの彫刻をよくつくった。それでも、山のように美しく、海原のように大きい感じを人に与える。それは起伏の律動が働いているからである。

*テキストはすべて本郷新「彫刻の美」(1980年、中央公論美術出版)より抜粋

彫

刻は、この量の芸術である。彫刻家は、人間の手で作った小さい形を通して、山のように高く、海のように深く、森のように静かに、またリングのように愛らしい精神のよろこびを人々にあたえるのである。量というものが示すあらゆる力を小さな形のうえにあらわす。人間の形をつくって、普通の人間以上の大きさやふしぎさをあらわす。また動物の形をつくって、その動物以上に人の心をひきつける。だから、量感のそなわらないものは、形はできていても

ほんとうの彫刻とはいえないのである。量感をもった彫刻は、わずか五十センチの人体でも、見つめているうちに、一メートルにも、二メートルにも、またそれ以上の高さにも見えたり、海のようにひろびろと感じたりもする。肩のりあがりやなめると、山脈のようにも見えてきたり、胸の肉づけを見つめているうちに、大海原に出たような気になることもある。どんなに小さくとも、みちみちた量の力は、限らない拡がりを感じさせ、どんなに大きくても、空っぽなもの、たよりないものである。

オーギュスト・ロダンの「眠れる女(裸婦)」
1887年 ブロンズ
札幌芸術の森美術館蔵

2015年
4月25日(土)～6月28日(日)

開館時間／10:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日／月曜日(ただし祝日の場合は開館し、翌日休館)
観覧料／一般 500(400)円、65歳以上 400(320)円、高大生 300(250)円、中学生以下無料 ※()内は10名以上の団体料金
主催：本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団) 後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

本郷新記念札幌彫刻美術館
Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo

彫刻の美

彫刻家本郷新(札幌生まれ、1905-1980)による『彫刻の美』は、青少年向けの芸術叢書として1942年に富山房から出版されました。彫刻の本質や魅力を平明かつ的確に、また美しくつづった名著として再版を重ね、今なお読み継がれています。

本展は、本書のなかの本郷の言葉を手がかりに「彫刻の美」を味わおうとするものです。「量」「動勢」「調和」「材質」等、本郷の提示する彫刻の要素に着目しながら、作品の見どころを紹介します。当館および札幌芸術の森美術館の所蔵品のなかから、日本近代彫刻の優品を中心に、その源流にあるロダン等の西洋近代彫刻の作品を加えて構成。彫刻と言葉の響き合う空間にぜひおでかけください。

[おもな出品作家] 荻原守衛、戸張孤雁、高村光太郎、中原悌二郎、本郷新、佐藤忠良、舟越保武、ロダン、ブールデル、マイヨール、デスピオ

*『彫刻の美』(1980年再刊/中央公論美術出版)は当館窓口でも販売しています。



1. アリステッド・マイヨール
《パンセ・ド・ビュッシー》
1930年 ブロンズ

美術講座 「彫刻の美～本郷新芸術の源流」

2015年5月16日(土)14:00～15:00

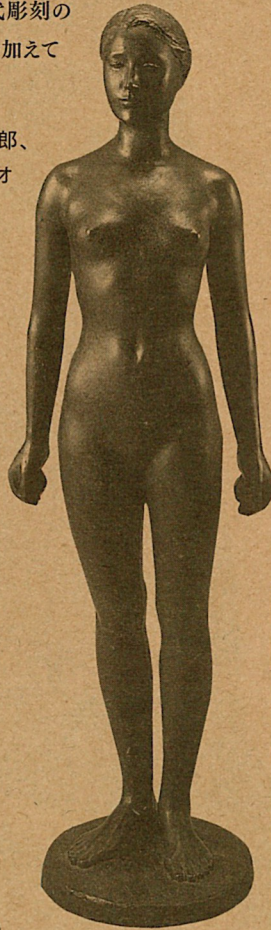
講師: 樋泉綾子(当館学芸員)

会場: 本館研修室

* 申込不要、要覧覧会観覧料



2. マリノ・マリニ《騎馬像》
1943年 ブロンズ



4. 舟越保武《杏》
1982年 ブロンズ



3. 荻原守衛《文堂》
1908年 ブロンズ



5. 本郷新《哭》1959年 樟

団体向け解説サービス

10名以上の団体を対象に、学芸員が展示解説を行います。本館・記念館両館をご案内します。

* 要予約 ☎011-642-5709

記念館へどうぞ



本館に隣接する記念館は、彫刻家・本郷新が東京で活躍する傍ら故郷に建てたアトリエです。本郷が手がけたスケールの大きな野外彫刻の石膏原型や、ブロンズ、木彫、テラコッタなどの代表作のほか、制作道具、家具などを常設展示。かつての邸宅の雰囲気の中で、本郷新の芸術とその制作の息吹にふれることができます。

「記念館でのミニ・コレクション展」

本郷新の描いた山々

北海道の山の風景を描いた本郷新の水彩画を紹介します。

2015年4月28日(火)
～10月18日(日)

休館日/月曜日

※ただし祝日の場合は開館し、翌火曜休館

《十勝岳より大雪山を望む》
1971年 ボールペン、水彩、紙



講習会「おとなのデッサン教室」

講師とともに「彫刻の美」展の
作品を鑑賞し、デッサンを学びます。

2015年5月30日(土)14:00～16:30

講師: 國松明日香氏(彫刻家)

参加料: 1,800円 定員: 20名

* 5月13日(水)より電話受付開始
(☎011-642-5709)

交通アクセス

◎公共交通機関をご利用の場合

地下鉄東西線「西28丁目」駅

バスターミナル3番のりばから

山の手線循環西20乗車

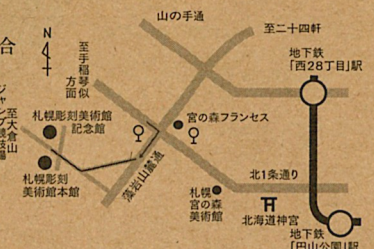
(約5分)、「彫刻美術館入口」

下車、徒歩約10分

◎お車をご利用の場合

市内中心部より約15分、

無料駐車場あり



本郷新記念札幌彫刻美術館

Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo

〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条12丁目 TEL 011-642-5709

http://www.hongoshin-smos.jp

twitter.com/sapporochobi

https://www.facebook.com/inmyroomsapporochobi

* 1～4は札幌芸術の森美術館蔵、
5は本郷新記念札幌彫刻美術館蔵

割引チケット

この券をご持参の方は右記のとおり
割引いたします。
(1枚につき4名様まで)

一般 500円→400円

65歳以上 400円→320円

高大生 300円→250円